

発掘だより

第26号
2006.12



ちょっと寄ってみませんか？

— 三好氏ゆかりの散歩道・板野町編2 — ～ 赤沢信濃守と十二人衆～



勝瑞が阿波の中心だった戦国時代、そのすぐ西側にある板野町周辺はたいへん重要な地域でした。今回の発掘だよりでは、この地の守りを受け持った三好氏の重臣、赤沢信濃守(あかざわしなののかみ)に注目したいと思います。

赤沢信濃守ってどんな人だったの？

赤沢信濃守は、三好義賢(みよしよし)のめいのむこにあたります。もとは小笠原宗伝と名のっていたようですが、古くから赤沢氏の居城として知られる板西城に入ったことで、赤沢信濃守宗伝と名のるようになったようです。

赤沢家十二人衆と呼ばれる強力な家臣団を持ち、今の板野町や上板町、徳島市の一部にまたがる広い地域を治めました。

今でいうと、板野町長と板野の警察署長をあわせたようなものかな



掛け軸に描かれた赤沢信濃守
(愛染院蔵)



勝瑞城館と赤沢家の城

勝瑞が西からせめられたときには、赤沢家のお城で防ぐようにおかれていますよ。



武士の名前ってどうなっているの？

赤沢
信濃守
宗伝

— 名字
— 通称
— 本名

武士の名前には本名と通称があって、ふだんは通称で呼ばれるんだ。親や主君以外の人間が本名で呼びかけることは、たいへん無礼なことだったんだよ。

昔から日本では、本名はその人の靈魂と強く結びついたものだから、本名を口にすることで、その人の靈魂を支配することができると考えられていたからなんだ。

「信濃守」っていうのは、官職名っぽいけど名前なんだ。「赤沢信濃守」とか「赤沢信濃守宗伝」と呼ばれるのがふつうだったんだよ。

「赤沢宗伝」という呼び方は、のろいをかけたりする時のように特別な場合以外はしなかったんだよ。



天正10(1582)年、四国統一をねらう土佐の長宗我部氏と三好氏の決戦・中富川の戦いに、赤沢信濃守は二千の兵を率いて先陣をつとめました。壮絶なうち死にをとげたと言われる信濃守の墓は、同じくうち死にをとげた多くの将兵の墓とともに、板野町那東の愛染院(あいぜんいん)にあります。



愛染院(板野町那東)

赤沢家十二人衆

赤沢信濃守は、板西城下の16の村に家臣を住まわせました。村々に分かれて住む9人の家臣と、板西城にいる赤沢出羽守(でわのかみ)・坂上備前守(びぜんのかみ)・安芸飛騨守(ひだのかみ)の「板西城三人衆」を合わせて「赤沢家十二人衆」と呼ばれました。

犬伏城 犬伏左近

中富川の戦いでは、今の東中富のあたりで戦ってうち死にしました。現在は、東中富老人憩いの家の敷地にお墓があります。

また犬伏家には、勝瑞城落城後、農民となって東中富村に住むようになったことが記された文書が残されています。



犬伏左近の墓

大寺城 大寺松太輔

板西城主 赤沢信濃守

板西城三人衆
赤沢出羽守
坂上備前守
安芸飛騨守

中富川の戦いでうち死に。その孫・若松は、寛永17(1640)年正見と改名して専光寺4代目住職となりました。



専光寺

西分城 新開右近

矢武城 赤沢美濃守

土佐の安芸城主・安芸国虎の子で、落城後板西城に来ました。成人して信濃守の娘と結婚し、「安芸飛騨守」と名乗りました。赤沢家が没落した後、板野町犬伏に住んで農民となりました。現在も犬伏に「安芸飛騨守弘恒公の墓(十太夫弘恒)」があります。



安芸飛騨守の墓

七条城 七条孫四郎

中富川の戦いでうち死に。父・兼仲(かねなか)は、三好義賢の危機を救う働きをしたことで、三好家の家臣としての領地が与えられました。兼仲はごうけつとしても知られ、多くの武勇伝が語り伝えられています。上板町にある大山寺の「力餅」も兼仲にちなんだものだそうです。



七条城址



椎ノ本城 板東紀伊守(きいのかみ)

中富川の戦いでうち死に。椎ノ本の板東家には、現在も古い記録が残されています。菩提寺(ぼだいじ)である昌光寺境内には、城主の板東紀伊守や一族の墓があり、今も5年に1度子孫によって供養の法要が行われているそうです。



板東紀伊守一族の墓

下庄 阿部采女正(うねめのかみ)

高輪城 高輪出羽守

新居城 赤沢鹿ノ丞

発掘現場ニュース



平成18年、は会所跡や枯山水庭園跡のすぐ東側を調査しました。何のためのものか、まだよくわからない大きな穴が見つかって、現場では日々なやみながら調査を続けています。

新年は1月9日(火)より作業を再開する予定です。お気軽に見学にお越し下さい!



問い合わせ先

藍住町教育委員会 社会教育課
勝瑞発掘現場事務所

TEL・FAX (088)641-3466

URL : <http://www15.ocn.ne.jp/~shouzui/>

E-mail : syugomachishouzui@air.ocn.ne.jp



K. Suzuki